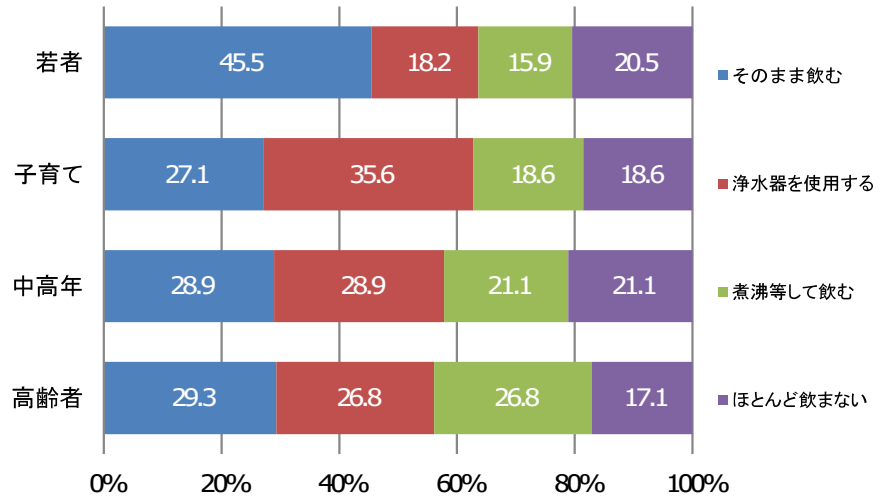
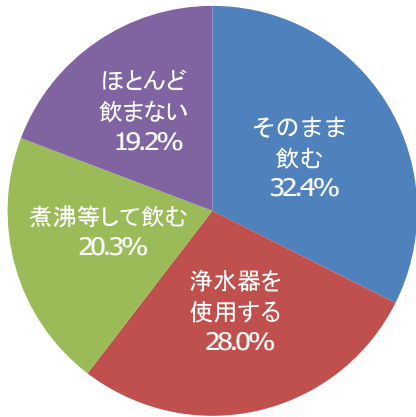


<上下水道に関する取り組みについて>

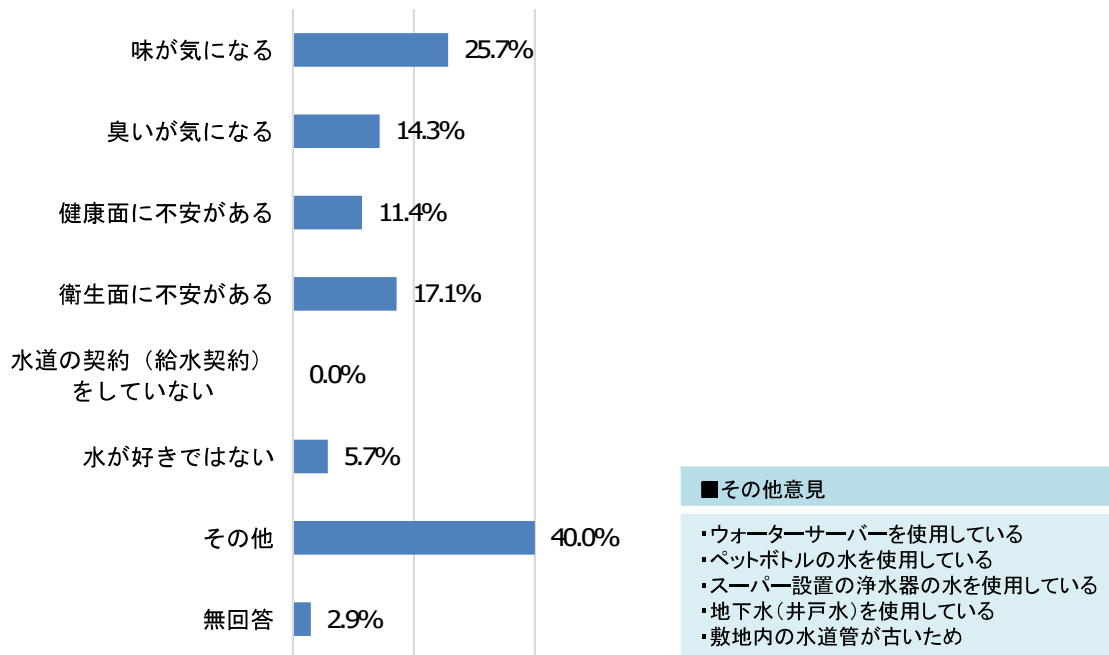
■問1 水道水をどのように飲んでいるか (N=182)



- 水道水をどのように飲んでいるかについては、「そのまま飲む」が約3割と最も多く、次いで「浄水器を使用する」も約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・高齢者では「そのまま飲む」が、子育てでは「浄水器を使用する」が、中高年では「そのまま飲む」と「浄水器を使用する」が最も多い回答となっています。

■問2 水道水を飲まない理由 (N=35 複数回答)

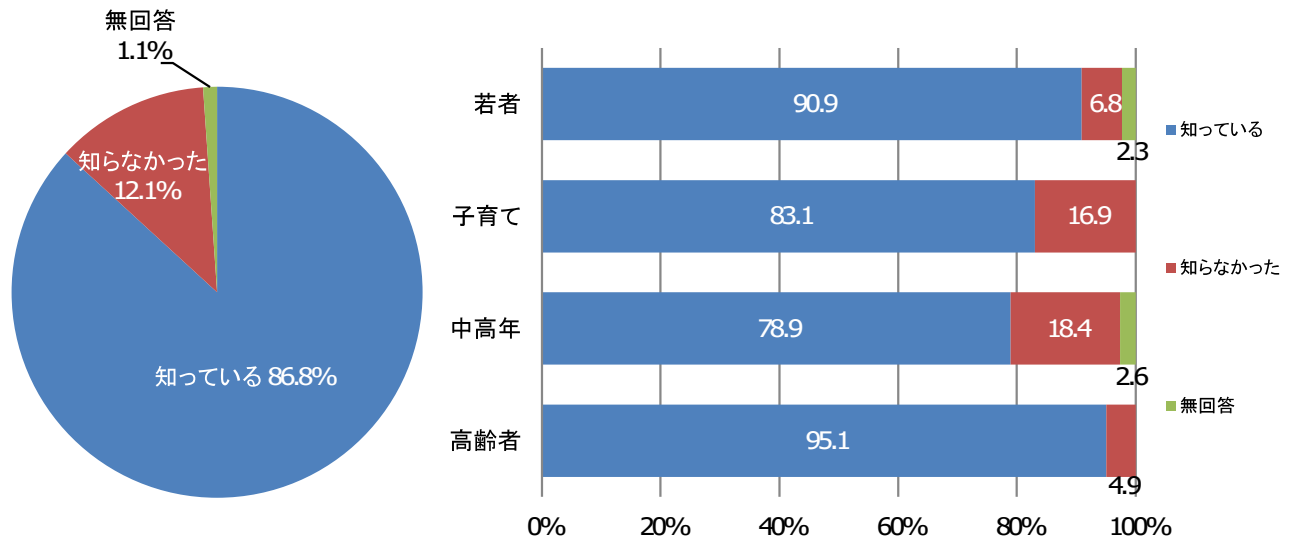
(問1で「4 水道水はほとんど飲まない」と回答した方)



- 水道水を飲まない理由については、「その他」が最も多い回答となっていますが、「その他」を除くと「味が気になる」が約3割と最も多い回答となっています。

問3 水道水には水道法による水質基準※があることの認知度 (N=182)

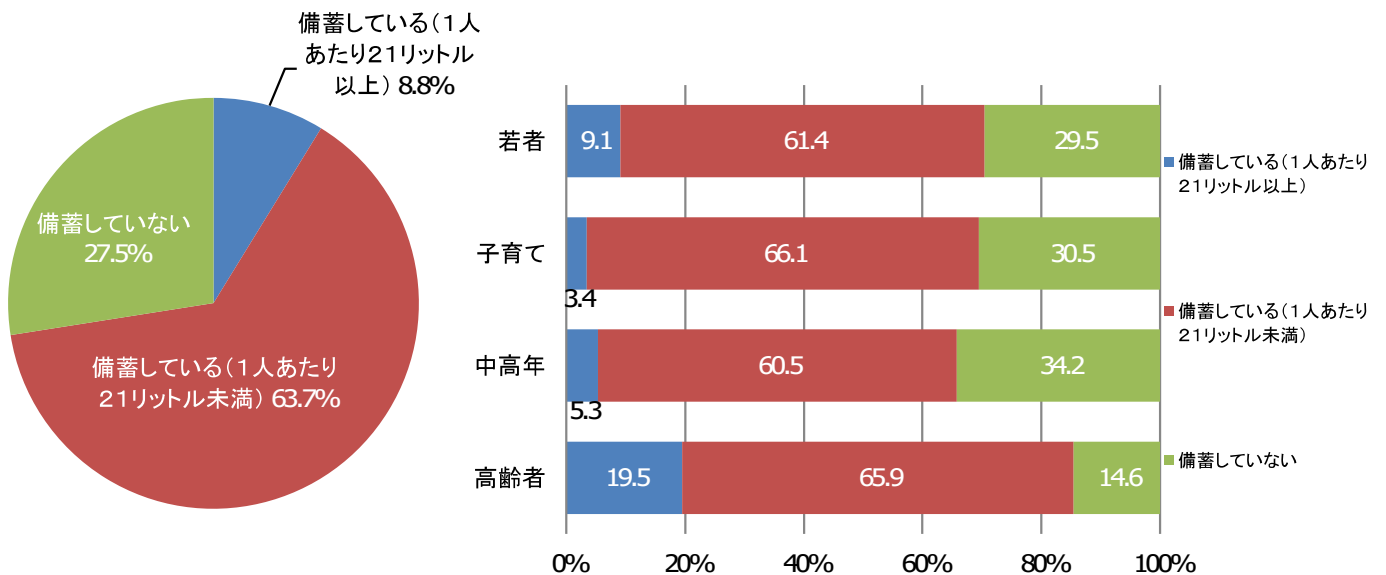
※ 水道水には、人の健康への影響や生活利用上の支障がないよう設定された51項目に及ぶ検査が義務付けられています。



- 水道水には水道法による水質基準があることの認知度については、「知っている」が約9割となっています。
- 世代別にみると、若者の約9割、子育て・中高年の約8割、高齢者の約9.5割が「知っている」と回答しています。

問4 災害用として飲料水を備蓄しているか (N=182)

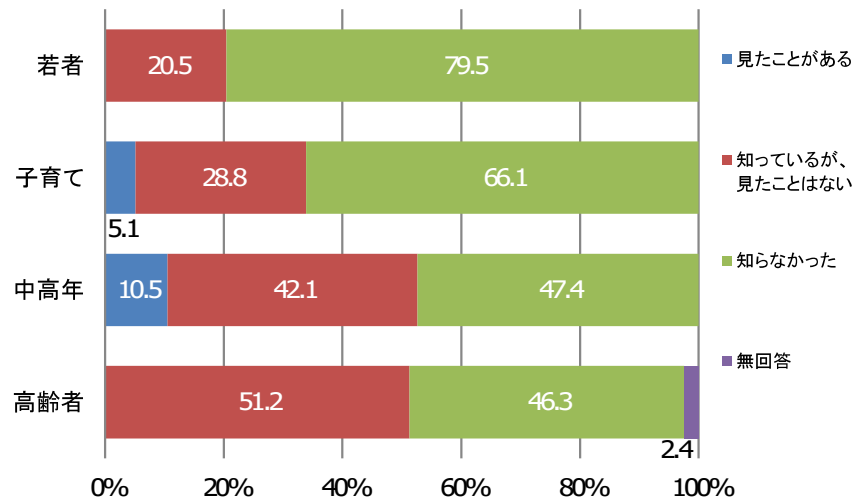
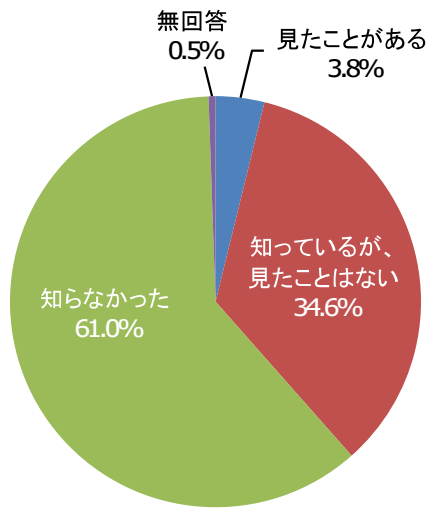
※ 災害時の飲料水: 1人1日あたり3リットル×7日分=21リットル



- 災害用として飲料水を備蓄しているかについては、『備蓄している』(「備蓄している(1人あたり21リットル以上)」と「備蓄している(1人あたり21リットル未満)」の合計)が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年の約7割、高齢者の約9割が『備蓄している』と回答しています。

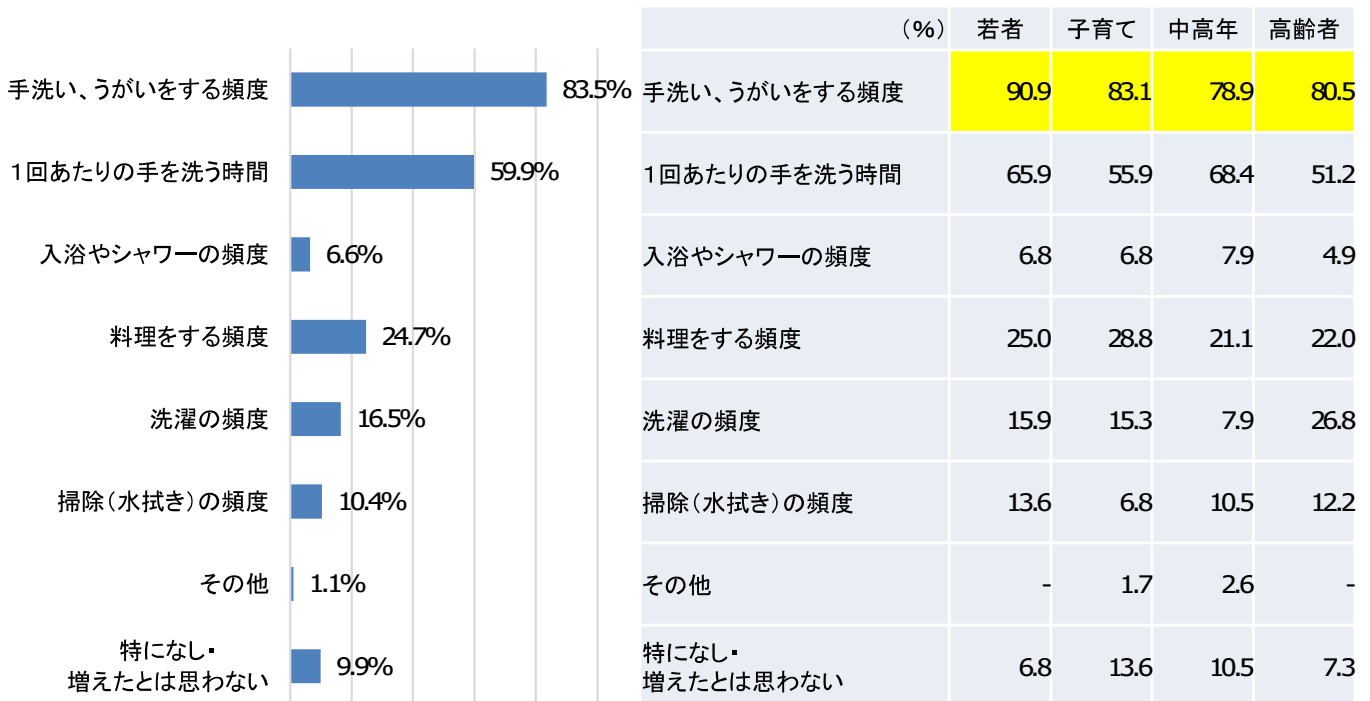
問5 マンホールトイレ※の認知度 (N=182)

※ 下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座や仕切りなどを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの。



- マンホールトイレの認知度については、『知っている』(「見たことがある」と「知っているが、見たことはない」の合計) が約4割となっています。
- 世代別にみると、おおむね世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

問6 コロナ禍により、水道の利用が増えたと思うもの (N=182 複数回答)



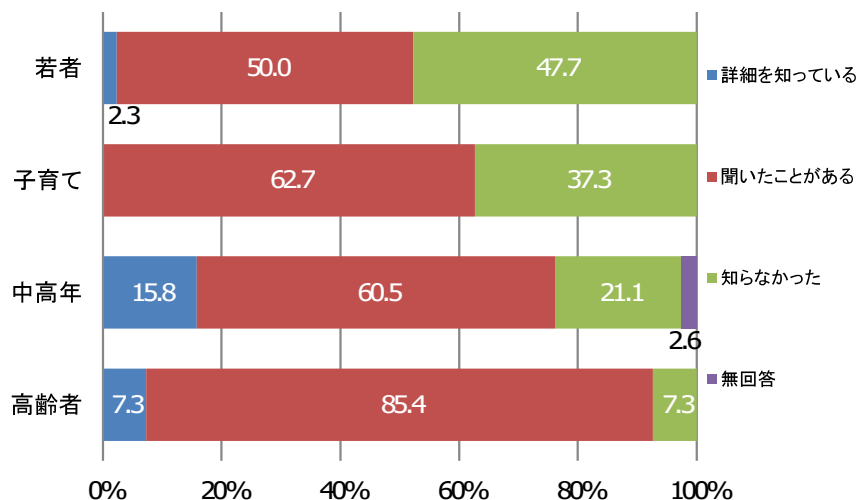
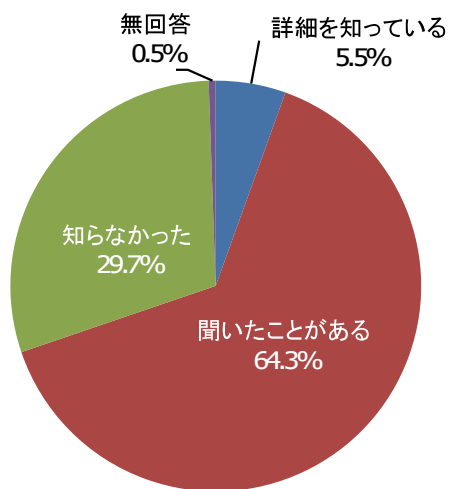
■その他意見

・夏の自宅でのプール

- コロナ禍により、水道の利用が増えたと思うものについては、「手洗い、うがいをする頻度」が約8割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「手洗い、うがいをする頻度」が最も多い回答となっています。

■問7 近い将来、地中の水道管や下水道管が一斉に老朽化を迎えることの認知度

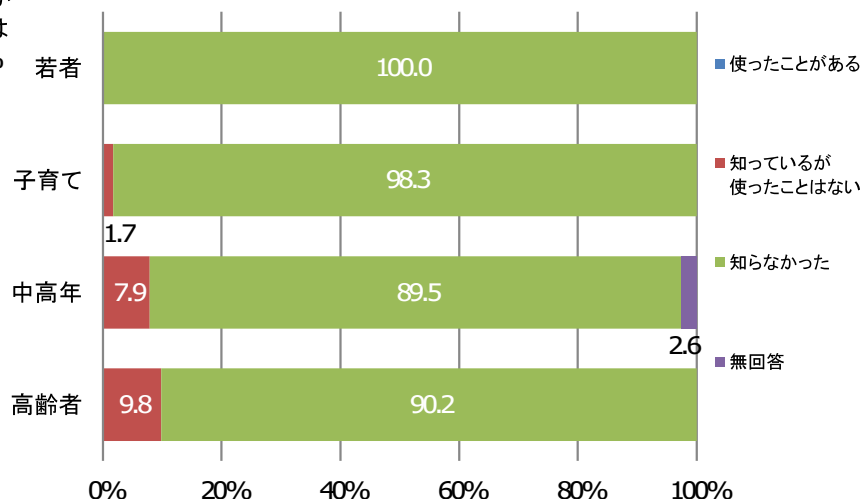
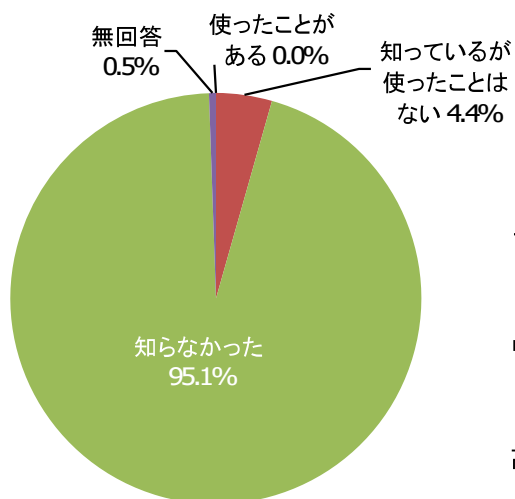
(N=182)



- 近い将来、地中の水道管や下水道管が一斉に老朽化を迎えることの認知度については、『知っている』(「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計)が約7割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっており、高齢者では約9割が『知っている』と回答しています。

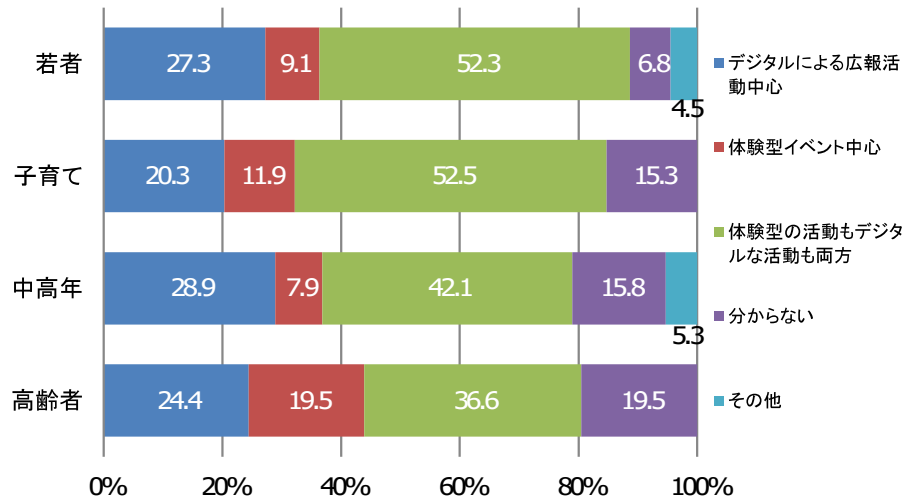
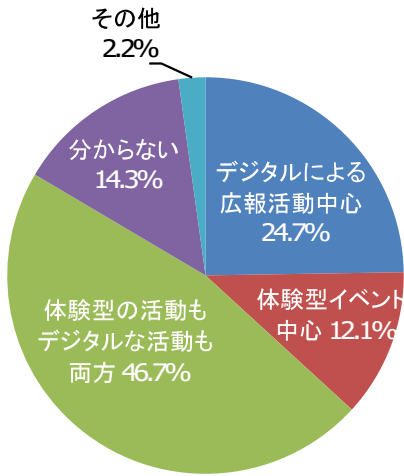
■問8 「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」で浜松市の上下水道について調べられることの認知度

(N=182)



- 「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」で浜松市の上下水道について調べられることの認知度については、『知っている』(「使ったことがある」と「知っているが使ったことはない」の合計)が1割未満となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

■問9 今後の上下水道の広報活動の形態 (N=182)



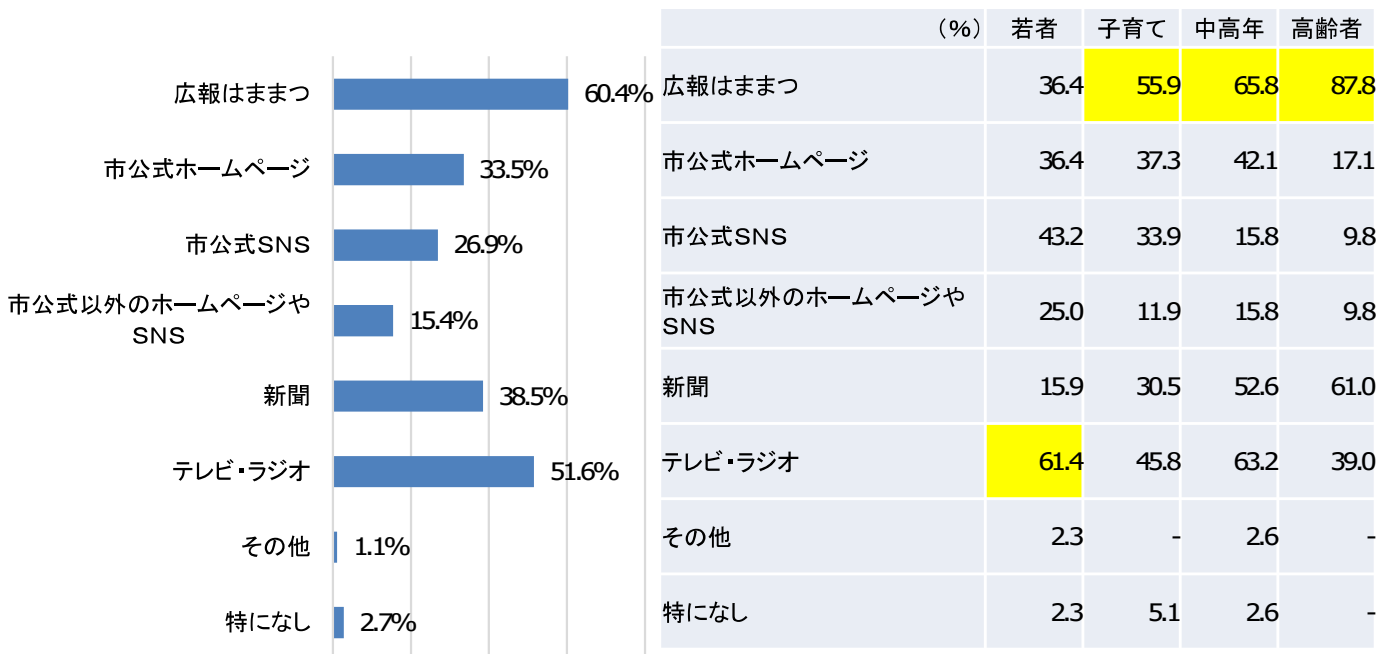
■その他意見

- ・テレビやラジオでの広報
- ・広報活動をする意味が見いだせない

■ 今後の上下水道の広報活動の形態については、「体験型の活動もデジタルな活動も両方」が約5割と最も多い回答となっています。

■ 世代別にみても、全ての世代で「体験型の活動もデジタルな活動も両方」が最も多い回答となっています。

■問10 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体 (N=182 複数回答)



■その他意見

- ・Instagram
- ・バス停などのデジタル広告

■ 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体については、「広報はままつ」が約6割と最も多い回答となっています。

■ 世代別にみると、子育て・中高年・高齢者では「広報はままつ」が最も多い回答となっていますが、若者では「テレビ・ラジオ」が最も多い回答となっています。